

7月号 2024年7月24日発行 No.254
運営通信

この「運営通信」は、総代の皆さんに毎月の生協の事業や経営・活動に関する情報をお伝えするためお届けしています。

第4期総代選挙を実施しています

第4期総代(定数400名)を決める総代選挙を7月15日(月)～8月23日(金)の期間で実施します。

県内の広域から、さまざまな世代の組合員に総代になっていただけるようバランスの良い選出を目指していきます。

第4期総代の任期は、現総代が任期を満了する日の翌日(2024年9月7日)から次の総代(第5期)が就任する日の前日までの約1年間です。

◆第4期総代の1年の流れ・ご参加いただく会議(変更になる場合があります)

開催日	内容
7～8月 総代選挙 (立候補期間)	400名の定数に対して計21選挙区(富山【176名】、東部【74名】、西部【150名】)から総代を選出します。
10月 総代のつどい	総代の役割やとやま生協の理念・ビジョン・年間の会議・スケジュールについての説明を行い、理解を深めていただきます。
11月 秋のブロック 総代会議	第3回通常総代会で確認した2024年度方針と事業計画の上期(4～9月)の進捗を確認し、下期(10～3月)の進め方について意見を出し合います。
2025年5月 春のブロック 総代会議	各ブロックの前年度まとめと次年度方針について承認いただきます。また通常総代会の議案について、事前に説明を聞いて理解を深めていただきます。
2025年6月 通常総代会	総代は1人1票の議決権を持って参加します。 生協が1年間取り組んできたことを確認し、新年度に取り組む活動や事業の計画について採決します。
2025年9月 任期満了 前年度の様子▶	

【目次】

- 1、第4期総代選挙を実施しています 表紙
- 2、理事会だより、5月度事業・経営報告 P 2
- 3、重点課題で取り組んだこと P 2
- 4、第30回海岸クリーン作戦を開催しました P 3
- 5、第2次中期経営計画策定 組合員アンケートにご協力ください P 3
- 6、令和6年能登半島地震支援報告 P 4

とやま生活協同組合

<https://www.toyama.coop/>

富山市金屋555

コールセンター

☎：0120-555-192

発行：経営企画G



◇話し合われたこと

第1回理事会(承認事項)

1. 代表理事および役付理事、常勤する理事の件
2. 2024年度-2025年度 役員の対外役員及び委員、理事会諮問委員会等の役割の件
3. 役員報酬額決定の件
4. 常勤役員退職金並びに非常勤役員退任慰労金支給の件
5. 執行役員の役員就任に伴う退職金支給の件

第2回理事会

(承認事項)

1. 2024年度5月度の事業・活動および経営報告の件
2. 2024年度第1四半期まとめと第2四半期方針の件
3. 総代選挙管理委員報告の件
4. 2024年度夏季賞与支給の件

(主な確認事項)

1. 第3回通常総代会開催報告の件
2. 連帯関連の総会開催報告の件
3. 2024年度労働条件改定の件

◇5月度 事業・経営報告

(全体経営報告)

- ・総事業高は14億3,123万円で、予算比 97%、予算差-3,943万円です。
- ・経常剰余金は311万円で、予算差-2,482万円の実績です。

(機関運営、組合員活動報告等)

- ・春のブロック総代会議を開催しました。総代377名(実参加125名、書面252名)が出席し、各ブロックの2023年度まとめと2024年度方針が承認されました。分散会では「2024年度取組みについて」について話し合いました。
- ・5月1日に新規小規模多機能型居宅介護事業所「輝かみいいの」が開所しました。
- ・5月30日にくらしの助け合いの会「にこりーな」の総会が開催され、全議案承認されました。
- ・組合員活動参加は、ブロック協議会・委員会に134名が参加、31の地域会で216名、せいきょうクラブ9回で48名の参加がありました。また、田植えに27名の参加がありました。

重点課題で取り組んだこと

とやま生協では総代の皆さんと総代会で確認した方針に基づき、重点課題を設けて取り組んでいます。

組合員の参加・参画(6月)

・第1回コープでわくわく講座【親子で参加!「防災」を楽しく学ぼう】

6月22日(土)、講師に朝の情報番組「ZIP!」の気象キャスターとしておなじみの「くぼてんき」さんを招き「ZIP!」の裏話や天気・自然現象・防災について、大人38名・子ども32名の計70名が参加し、学びを深めました。

参加者の関心が高い地震については、「日常の中で『地震が起きたらどうなる?』と考えておくことが大切」だとお話されました。

地震が起きたらケガにつながりそうなものはないか、自分の住んでいる地域は停電・ガスの停止・断水が発生すると復旧までどれくらい時間がかかるのか※、など具体的に想像しておくことで「じゃあ何を備蓄する?」を考えられるようになるのだそうです。

「暖房が使えない」に備えて「ポータブル電源を用意する」、「歯みがきができない」に備えて「歯みがきシートを用意する」など、具体的な考え方を学びました。

※右のQRコードから自分の地域の復旧日数について調べることができます。(防災科研:地震10秒診断)



第30回海岸クリーン作戦を開催しました

2024年6月16日(日)、岩瀬浜(富山市)と六渡寺海岸(射水市)の2会場で「第30回 海岸クリーン作戦」(主催/富山県生協連合会)を開催しました。

県内の生協や協同組合、地域の方々など岩瀬浜に373名、六渡寺海岸に220名の合計593名(うち とやま生協合計310名)が参加し、海辺のゴミ拾いやマイクロプラスチック調査を行いました。

これまでの30回にわたる取り組みが実を結び、今回は過去最高の参加者数となりました。

また、今回30周年記念クイズ(海洋ゴミの重さ当て)を開催し、119名の応募がありました。残念ながらピタリ賞はありませんでしたが、総数量に近い方30名が当選し、後日景品を受け取りました。



▲六渡寺会場



▲岩瀬浜会場

【クイズの回答】
▼六渡寺会場：480kg



▼岩瀬浜会場：780kg



第2次中期経営計画策定 組合員アンケートにご協力ください

とやま生協は、組合員の暮らしによりお役立ちできる生協として進んでいけるよう、組合員の声を活かしたいと考えています。

今回のアンケートは、2030ビジョンで示した「暮らしのトータルケア事業」の実現を目指すため、これからの事業や活動(第2次中期経営計画※)について組合員の期待やニーズを聞き取り、反映させるためのものです。ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

(※2025-2027年度までの3ヶ年の中期計画)

※締切日までに回答を提出いただきました方全員に、宅配で使用できる20ポイントを進呈いたします。詳しくは、同封のアンケートをご確認ください。

締切/WEB：8月11日(日)、用紙：8月9日(金)

【2030ビジョン】とは

県民のより多くの世帯に対し、食と福祉と助け合いの『暮らしのトータルケア事業』に取り組み、切れ目なく提供し「住み慣れた地域で、安心して元気に暮らし続けられる」地域社会創りをめざし、組合員と役職員、地域とも協力・協働し挑戦します。

～とやま生協「暮らしのトータルケア事業」～

宅配事業

暮らしと生協全体の事業を支える中心事業として、より利用しやすいよう改善していきます。



生活支援事業

配食事業は弁当を中心に食と健康に貢献する事業としてすすめます。買い物に困りの組合員と県民を支援する事業として移動店舗事業を展開します。



福祉事業

高齢者や障がい者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、自立支援型のケアを実践します。子育て関連事業に挑戦します。



店舗事業

暮らしに必要な食を支える事業を目指し、生協の諸手続きが行えたり、組合員活動や地域との交流が行えたりする機能を設けます。



共済事業

組合員の暮らしに合った提案で、保障分野のお役立ちを高めていきます。



みんな
地域でつくる、
とやまの未来

令和6年能登半島地震支援報告

とやま生協では、助け合いの組織として、「令和6年能登半島地震」被災地の支援を継続してすすめています。

6月28日(金)～6月30日(日)の3日間、職員1名を派遣し、石川県鳳珠郡穴水町を活動地域とした災害ボランティアセンターの運営サポート業務全般を担う活動を行いました。

穴水町



【主な活動内容】

- ① ボランティアニーズの受付・現地調査
- ② ボランティアのコーディネート・送り出し説明
- ③ 作業資機材・車両の管理、ボランティアへの飲料・おしぼり等のふるまい
- ④ 廃棄物仮置き場入場・ボランティア活動・高速道路使用等の各種証明書発行

【1日目】6月28日(金)

平日の金曜日ということもあり、活動案件が少なかったため地元や他団体スタッフの方と積極的にコミュニケーションをとり、業務の把握に努めました。

ボランティアセンターの方は、少しでも皆さんのお役立ちしたいと思う共通の志によって乗り切っていることを実感しました。

※地元出身遠藤関の資料館を借りています。



▲オリエンテーションでボランティアの方へ説明する様子

【2日目】6月29日(土)

土曜日だったので、県外や団体の参加ボランティアが目立ち、初めて参加された方や毎週足を運んでいる方、学生から年配の方まで多くの方々と接することができました。

活動に少し慣れてきたので、より良いボランティアセンター運営を考え、車両清掃や見やすい道路地図作成を行いました。

ニーズ受付からボランティア完了まで一元管理する作業管理システム入力作業の様子▼



▲このバッジを胸につけ活動。

【3日目】6月30日(日)

天候も悪く、活動内容が多岐にわたっていたことから、コーディネート作業が難航しました。ボランティアの方の安全、現地作業の進捗、15時半までにセンター帰着を意識しながら、無線を使って現地と本部のやり取りを行いました。

穴水町ボランティアセンターの周辺では、屋根や壁がくずれたまま、手つかずの状態の家屋や建物が残っています。また、歩道や道路には亀裂が入ったり、ガタガタになっていたりと危険な箇所が多く見られました。

～支援活動の感想～

1日目の帰りに、コープいしかわの「のと北部センター」に立ち寄ると、全国生協の仲間からの応援メッセージが掲示されていました。

配送センターのスタッフの皆さんは、まだまだ道路状況が悪い中、毎日奮闘されていました。

現地でのボランティア活動の作業依頼は少なくなってきたようですが、実際はニーズが埋もれており、ニーズの掘り起こしが課題となっています。

また機会があれば、ぜひ現地に伺い、お役に立ちたいと思いました。



←センターに飾られている応援メッセージ



▲倒壊したままの建物